

2013年夏、横尾忠則氏の美術館が豊島に誕生します。



提供：永山祐子建築設計

名称：豊島横尾館
 場所：香川県小豆郡土庄町豊島家浦2359
 アート：横尾忠則
 設計：永山祐子建築設計
 構造：木造、一部鉄骨造

2010年の「瀬戸内国際芸術祭」開催以来、豊かな自然や食とアートで注目を集める香川県・豊島。この豊島に、またひとつ新たな美術館が誕生します。

アーティスト・横尾忠則、建築家・永山祐子による「豊島横尾館」は、豊島の玄関口となる港に面した家浦地区の、集落にある民家を改修してつくられます。

館内には横尾氏の約2.3m×5.4mにもおよぶ大作と、この美術館のために描かれた新作を中心に、平面作品約10点が展示されます。また、石庭と池、増設される円筒状の塔にはインスタレーションが展開され、作品空間は敷地全域にシンボリックな拡がりを見せます。その空間は、生と死を同時に想起させる哲学的な場となります。

永山氏の建築は、横尾氏の作品をより一層際立たせると同時に、作品世界と豊島の日常世界との間に透過性のある境界を創出します。光や色をコントロールする色ガラスを用いて、空間を通り抜ける豊島の光や風や色、作品の見え方をさまざまに変容させて、空間体験をコラージュのようにつなげます。

開館は、「瀬戸内国際芸術祭2013」が開催される2013年7月を予定しており、去る11月21日(水)には起工式が行われました。同芸術祭の春期間には、美術館が出来上がっていく風景を公開し、地域の方々や訪れる方々とともに美術館が誕生する過程を共有していきます。

今後開館までの情報をお知らせいたしますので、ご覧いただけましたら幸いです。



横尾忠則 (よこおただのり)
 アーティスト

1936年兵庫県に生まれる。パリ、ヴェネチア、サンパウロ、など各国のビエンナーレに招待出品。国内外の美術館で多数の個展を開催。ニューヨーク近代美術館個展(1972年)、カルティエ現代美術財団個展(2006年)、金沢21世紀美術館個展(2009年)、瀬戸内国際芸術祭(2010年、豊島)。



永山祐子 (ながやまゆうこ)
 建築家

1975年東京都生まれ。1998-2002年青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事に、「LOUISVUITTON 京都大丸店」(2004年、京都)、「丘のある家」(2006年、東京)、「カヤバ珈琲」(2009年、東京)、「木屋旅館」(2012年、愛媛)など。

このリリースに関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 占部、川浦

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850
 E-mail press@fukutake-artmuseum.jp

Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466
<http://www.benesse-artsite.jp/contact/press.html>

Benesse
 Art Site
 Naoshima